

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区(5/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区(神奈川県、横浜市、川崎市)	3.9	4.6 進捗度 ・特区事業の実施によるライフイノベーション分野における経済効果 113% ・個別化・予防医療及び未病改善などを実現するためのデータサイエンスの活用等に取り組む事業数 100% ・医薬品・医療機器・再生医療等製品等の早期実用化に向けた取組件数 106% 等	3.4 財政支援等 ・地域イノベーション戦略支援プログラム ・総合特区設備等投資促進税制等 地域独自の取組 ・産業集積促進奨励金 等	3.7	<p>・おおむね良好な進捗と判断できる。特に研究開発色が強い事案の割に財政・税制優遇制度・支援などを活用している事例が毎年のように出ている点も評価できる。</p> <p>・法務に関する部門を設け、現行制度の精査、規制緩和に必要な法的整備、自主規制に必要な規程の整備等について検討し、「規制の特例措置」の活用によって事業展開の速度が増すことが期待できる。</p> <p>・財務、税務、金融の専門家の協力を得ると、財政・税制・金融の支援が活用でき、さらに成果が上がると期待される。</p> <p>・健康産業の創出等に向けて神奈川県産業技術総合研究所(KISTEC)を核とする連携が進捗している。</p>